

平成30年度「嬉野市かがやき大学」 第5回講演会

平成30年9月10日(月) 13:30~14:30
於: 嬉野市公会堂

講師 八谷茂樹 氏
演題 「鍋島藩の塩田役所について」



演題「鍋島藩の塩田役所について」には、地元の歴史に関するご講演であったので、聴衆の方々も関心が高く、多数の来場者がありました。昨年度末のアンケートでも聴講を希望する領域では、「歴史、郷土史」が多い結果でした。

八谷様は、嬉野町吉田の春日のお生まれで、幼少期から自然豊かな山野で過ごされました。また、春日分校、吉田小学校へ通っておられ、歴史探訪郷土紙「ふるさと吉田」にも貴重な伝承のお話などを寄稿されています。現在の役職については、嬉野山野草愛好会の会長も務められ、山野草についても深い造詣をお持ちです。他にも嬉野市文化財保護審議会委員長、佐賀県希少野生動物保護取締委員、嬉野地区戦没者遺族会会長等、幅広くご活躍されています。

ご講話では、「佐嘉鍋島藩の成立と本藩と蓮池藩塩田役所のかかわり」という資料をもとに、歴史小話も織り交ぜいただき、聴衆の方々も興味津々のご様子でした。特に、「佐賀藩の参勤交代の人数は500人ほどもいて、江戸まで約30日を要し、莫大な費用がかかった。武士以外の足軽や人夫等は自炊をして、ごろ寝であった。」というお話には、感嘆の声も聞こえてきたようです。また、「昔の米1俵は、3斗1升5合だった。なぜ、1升5合という中途半端なのかでは、藁の俵からこぼれることやネズミに食われること、十分に乾燥してしていなかった。」という話に頷いておられたようです。

本日は、かがやき大学が嬉野公会堂で開催される初めての講演会でした。塩田町からの出席者も多く、盛大に開催されました。今回の受講者は193名でした。「久しぶりに来たが、公会堂までは遠かった。」「資料も多く、丁寧に説明していただき、とても分りやすかった。」「1時間は短かった。もっとお話をお聴きしたかった。」などの声がありました。